

■新発田市のあゆみ

昭和 22 年	1 月	市制施行	昭和 52 年	7 月	市民プール完成
昭和 23 年	3 月	市消防署開庁	昭和 53 年	6 月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額 12 億円
	4 月	5 つの新制高校発足	昭和 55 年 (1980 年)	3 月	加治、菅谷中学校閉校
昭和 24 年	5 月	市役所職階制による給与体系実施		4 月	市民文化会館・公民館完成。七葉中学校開校
昭和 25 年 (1950 年)	3 月	市公民館設立	昭和 56 年	1 月	豪雪により人的被害などが発生
	8 月	市内初の保育園開園。市営球場完成		3 月	下中山、菅谷、石川小学校閉校
昭和 26 年	2 月	国立新発田病院火災発生、第 1 病棟全焼		4 月	統合「菅谷小学校」開校
昭和 27 年	5 月	坪川 平氏名誉市民となる		6 月	梅雨前線豪雨発生、建物被害など被害総額 35 億 9 千万円
	7 月	梅雨前線豪雨発生、市内 612 町歩冠水		8 月	日韓スポーツ交流で訪韓団を派遣
昭和 29 年	1 月	市消防署に火災専用電話 119 開設		10 月	皇太子、同妃両殿下を迎え「市民の幸せを考える集い」開催
	4 月	「市政だより」第 1 号発行	昭和 58 年	4 月	新発田商工高校が南高校と商業高校に分離。二市北蒲原郡総合健康開発センター、市保健センター完成
	9 月	市防犯組合結成		10 月	厚生省のヘルスパイオニアタウン事業に指定を受ける
昭和 30 年	3 月	五十公野、松浦、米倉、赤谷、川東、菅谷の 6 村を合併		11 月	市公民館が優良公民館活動で文部大臣賞受賞
昭和 31 年	3 月	加治川村の一部を合併。国鉄白新線開通	昭和 59 年	1 月	豪雪により建物被害などが発生
	4 月	第一中学校火災発生、一部焼失		3 月	国鉄赤谷線廃止。中野賞制定
	7 月	梅雨前線豪雨発生、市内 420 町歩冠水		4 月	タウンホームのぞみ工房、のぞみの家完成
昭和 32 年	6 月	新発田城表門、隅櫓、国の重要文化財に指定		5 月	農業研修センター完成。五十公野公園野外活動施設オープン。市健康づくり推進協議会が総理大臣賞受賞
昭和 33 年	7 月	集中豪雨発生		8 月	駅地下道完成
	9 月	台風 21 号発生		10 月	カルチャーセンターオープン
昭和 34 年	4 月	佐々木村を合併。猿橋小学校開校		11 月	新発田川放水路着工。新市立図書館オープン。新発田食品工業団地完成
	4 月	江口（五十公野）大火発生	昭和 60 年	1 月	豪雪発生、人的・建物被害など被害総額 6 億 5 千万円
	7 月	新発田城解体復元工事始まる		4 月	特別養護老人ホーム「二の丸」完成
	8 月	御免町小学校新校舎完成	昭和 62 年	3 月	荒川小学校、松浦小学校閉校
昭和 35 年 (1960 年)	4 月	新市域に置かれた支所が廃止され出張所に。加治橋完成		4 月	統合「松浦小学校」開校
	9 月	台風 18 号発生		5 月	常陸宮、同妃両殿下を迎え、当市で「全国野鳥保護のつどい前夜祭」開催
昭和 36 年	8 月	集中豪雨発生、市内 128 町歩冠水		7 月	路谷虹児記念館オープン。市の花にアヤメ、市の木にサクラを制定
	9 月	精神薄弱児施設いじみの学園完成、第 2 室戸第 2 室戸台風発生	昭和 63 年	4 月	東豊小学校開校
昭和 37 年	4 月	市内初の信号機設置。江口で大火、12 戸全焼		11 月	水道局庁舎完成
	5 月	市立体育館完成	平成 元年	4 月	山林火災発生、金山地内から出火し民有林・国有林を 22ha 消失
昭和 38 年	2 月	豪雪による被害総額 1 億円に		7 月	五十公野公園あやめ園が「手作り郷土賞」を受賞。五十公野公園が「日本都市公園 100 選」に認定。建設省が加治川を桜づつみモデル事業に認定
昭和 39 年	3 月	本丸中学校火災発生、特別教室焼失		9 月	新新バイパス全線開通
	4 月	市役所庁舎全焼。国道 7 号新発田バイパス完成。町名変更		10 月	五十公野サン・スポーツランドオープン
	6 月	新潟国体で当市も会場に。天皇陸行幸啓。新潟地震発生		11 月	大韓民国議政府市と友好都市協定を締結
昭和 40 年	11 月	市役所新庁舎完成	平成 2 年 (1990 年)	2 月	村尻遺跡出土品ヒト形土器、壺形土器が県の有形文化財・考古資料に指定
昭和 41 年	7 月	水害発生、人的・建物被害など被害総額 54 億 9 千万円		3 月	五十公野森林館完成
昭和 42 年	8 月	羽越水害発生		6 月	旧県知事公舎記念館オープン
昭和 43 年	2 月	豪雪発生、市内交通機関などが麻痺			
	10 月	広域ごみ焼却場、岡田に完成			
	11 月	勤労青少年ホーム完成			
昭和 45 年 (1970 年)	11 月	足軽長屋、国の重要文化財に指定			
昭和 46 年	5 月	板山放牧場完成			
	6 月	集中豪雨発生、建物被害など被害総額 7 億円			
昭和 48 年	10 月	休日救急診療所を開設			
昭和 49 年	10 月	内の倉ダム完成			

11 月	しばた台輪が天皇即位記念日本まつりパレードに参加。韓国議政府市へ第 1 回職員研修派遣	平成 9 年	3 月	人権擁護都市宣言
12 月	第 1 回市民表彰		4 月	菅谷・紫雲寺保育園開園。隣保館オープン
平成 3 年	3 月	新発田東デイサービスセンター完成。清水谷庭園が県文化財記念物・名勝に指定	6 月	サン・ビレッジしばたオープン。市制施行 50 周年記念式典開催。第 4 回世界・第 40 回全日本花いっぱい大会開催。第 10 回全国あやめサミット開催。防災安全都市宣言、核兵器廃絶平和都市宣言
	4 月	敬和学園大学開校。ボランティアセンターオープン	10 月	エフエムしばた開局。坂ノ沢 C 遺跡から石斧やたて穴住居、石器群発掘
	7 月	住吉コミュニティセンターオープン	11 月	市保健自治会が自治大臣表彰を受ける
	9 月	印鑑登録証（カード）による印鑑証明書の発行開始	平成 10 年	3 月 「コモタウン」オープン
	10 月	総合健康開発センターが厚生大臣賞を受賞	4 月	学校給食北共同調理場オープン。市庁舎時間禁煙実施。新発田広域クリーンセンターオープン。安兵衛の松 2 世植樹
	11 月	石川県加賀市と友好都市協定調印。市社会福祉協議会が厚生大臣賞を受賞	5 月	忠臣蔵サミット開催。城下町伝統文化展開催
平成 4 年	4 月	新潟職業能力開発短期大学校開校。五十公野公園野球場オープン	6 月	「城下町新発田 400 年のあゆみ」発刊。市緑・花振興局協会が内閣総理大臣表彰を受ける
	5 月	ふるさと会館オープン	7 月	市防災協会設立
	8 月	麓谷虹児記念館が公共建築賞優秀賞受賞	8 月	市水道創設 70 周年記念「水道フェスティバル」開催。8.4 水害発生、建物被害など被害総額 7 億 2 千万円。野外劇「この豊かなる大地の讃歌」公演
平成 5 年	1 月	高齢者レクリエーションセンターオープン	9 月	新発田藩初代藩主ブロンズ像建立
	2 月	市消防団が日本消防協会から特別表彰「まとい」受賞	10 月	全国「花嫁人形」合唱コンクール、全国「花嫁」手紙コンクール開催
	4 月	訪問看護ステーション、在宅介護支援センターオープン。市立図書館で本の貸し出し等に電算機利用開始。県植樹祭が五十公野公園で開催	11 月	麓谷虹児記念館が「公共建築百選」に
	6 月	滝谷森林公園一部オープン	平成 11 年	2 月 新発田育英会学生寮竣工
	10 月	生涯学習センターオープン。廃棄物減量等推進員を設置。厚生省の「健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業」に指定	4 月	天ノ原保育園開園。学校給食川東共同調理場オープン。市情報公開条例、市個人情報保護条例施行。市都市マスタープラン完成。佐々木コミュニティセンターオープン
	12 月	勤労者福祉センター（サン・ワークしばた）オープン	5 月	知的障害者授産施設「希望の家」竣工
平成 6 年	8 月	新発田温泉「あやめの湯」オープン	7 月	市下水道事業審議会スタート
平成 7 年	1 月	松浦小学校が全国交通安全優良校として表彰	8 月	旧市営野球場用地と新発田駐屯地営前訓練場用地一部交換。武家屋敷を市の文化財に指定
	4 月	新発田北デイサービスセンターオープン。新潟県北部地震発生、県指定文化財市島邸住宅「湖月閣」倒壊	10 月	韓国議政府市との友好都市協定 10 周年記念事業開催
	6 月	アメリカ合衆国アイオワ州オレンジシティと姉妹都市協定調印。赤谷サイクリングロードが全国街路事業コンクールで特別賞受賞	11 月	家庭ごみ収集有料化スタート。しばた台輪が天皇陛下御即位 10 周年奉祝祝賀パレードに参加
	7 月	自転車等放置防止及び自転車等駐車場条例施行	平成 12 年 (2000 年)	1 月 新発田温泉「あやめの湯」入場者 50 万人達成
	10 月	在宅福祉事業功労で厚生大臣表彰を受ける		2 月 県立新発田病院整備促進期成同盟会設立
	11 月	新発田川放水路暫定通水		3 月 御免町幼稚園新園舎完成。新発田川放水路事業完成。市勤労青少年ホーム閉館
平成 8 年	1 月	住民参加によるまちづくり部門で自治大臣表彰を受ける		4 月 豊浦保育園開園。新発田南デイサービスセンターオープン
	2 月	韓国議政府市と第 1 回友好都市市制発展研究会開催		5 月 市行政改革推進本部設置
	3 月	正保越後国絵図、古絵図 3 点が県有形文化財古文書に指定		6 月 粗大ごみ戸別収集・白色トレイの店頭回収開始。市自治会連合会設立
	7 月	滝谷森林公園宿泊棟オープン		8 月 広島平和記念式典に中学生 3 人派遣。大相撲新発田場所開催。住吉町花と緑の会が緑化
	11 月	二市北蒲はいかいシルバー SOS ネットワーク通信開始		
	12 月	新発田女性会議設立		

	推進運動功労者として内閣総理大臣表彰を受ける	平成 16 年	2 月 県立新発田病院移転建築工事着工
	9 月 市まちづくり総合計画基本構想完成。市防災フェスティバル 2000 開催		3 月 新発田南バイパス開通
	10 月 環境美化推進条例施行		4 月 川東保育園開園。地域交流センター(きやり館)オープン。新発田城址公園リニューアルオープン。滝谷森林公園対岸デイキャンプ場オープン
	11 月 羽越本線新幹線直通促進新潟地区期成同盟会設立		5 月 まちづくり出前講座開始
平成 13 年	2 月 市ホームページ改訂。市長への手紙、市政懇談会開始。市行政改革推進計画策定		6 月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた文化の祭典」開催
	3 月 市まちづくり総合計画基本計画・実施計画策定。市農村マスタープラン策定。猿橋小学校新校舎竣工		7 月 新発田城三階櫓・辰巳櫓開場式開催。新発田市菓「あやめ城・三階櫓」販売開始。新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「ページェントしばた 2004 〜道学共創〜」開催。「しばたっ子台輪」完成・お披露目パレード。7.13 新潟・福島豪雨災害発生、道路・農林水産施設被害など被害総額約 1,850 万円
	4 月 市総合健康福祉センター「いきいき館」オープン。環境基本条例制定。「新潟 2001 年宇宙の旅」に 3 台の金魚台輪が参加		10 月 中越地震発生
	6 月 旧赤谷線「歴史探勝の道」全線開通。古タイヤ火災発生、真野原外地内から出火し松林 47ha、古タイヤ約 2 万 2 千本消失		11 月 商工会議所分館「まちの駅」オープン
	7 月 市民ギャラリーオープン	平成 17 年	1 月 新発田城三階櫓・辰巳櫓完成記念事業「城下町しばた全国雑煮合戦」開催
	10 月 米倉ふれあいロードパーク「ねむの木広場」オープン		3 月 杉山義法氏追悼公演「よろけ養安」公演
	11 月 県営大規模湛水防除事業新発田 I、II 期地区県営かんがい排水事業五十公野地区竣工。市環境率先実行計画〜エコシフト 21〜策定。諏訪神社火災発生、本殿及び市指定文化財などが消失		4 月 地域交流センター屋内ホール(あおり館)オープン
平成 14 年	4 月 うすが森保育園開園。御幸町ふれあいコミュニティセンターオープン。新発田中央公園幼児ゾーンオープン		5 月 紫雲寺町・加治川村と合併。紫雲寺町よりアメリカ合衆国ミズーリ州セントジェームズ市、長野県須坂市、加治川村より韓国全谷邑との友好都市・姉妹都市協定を継承
	5 月 日本海東北自動車道「新潟空港 IC 〜聖籠新発田 IC」区間開通		6 月 米倉有機資源センター、加治川有機資源センター完成。水害発生、8 地区 314 世帯 1,182 人に避難勧告
	7 月 五十公野公園陸上競技場「グリーンスタジアムしばた」竣工		7 月 三国コカ・コーラボトリング(株)と災害救援協定締結。板山有機資源センター完成
	9 月 新発田市・豊浦町合併協議会設置		10 月 「景観行政団体」に認定
	10 月 高速道路日本海東北自動車道「聖籠新発田 IC 〜中条 IC」区間開通。新発田市公共下水道供用開始		12 月 新潟大停電発生、下越地方を中心に 65 万戸が停電
平成 15 年	2 月 県立新発田病院、リウマチセンター、附属看護専門学校の基本設計概要発表。市ファミリーサポートセンター開設	平成 18 年	1 月 佐藤食品工業(株)、(株)伊藤商店と災害救援協定締結
	4 月 「新発田駅前・中心市街地活性化地区移動円滑化基本構想」策定。精神障害者授産施設「夢工房しば草」オープン。新発田城三階櫓・辰巳櫓上棟式、上棟祭開催。豊町ふれあいコミュニティセンター、猿橋コミュニティセンターオープン		2 月 NPO 法人新発田市総合型地域スポーツクラブ発足。新発田城が「日本 100 名城」に選ばれる
	6 月 清水園庭園・五十公野御茶屋庭園国指定名勝に指定		3 月 城下町しばたもちもち会発会。西新発田五十公野線の一部(本町〜東新町)開通
	7 月 豊浦町と合併。名球会“あなたのまちに名球会がやってくる”新発田大会開催		4 月 新発田市まちづくり総合計画・中期基本計画、新発田市行政改革推進計画(後期計画)策定。寺町たまり駅、中央町たまり駅、諏訪町たまり駅オープン。地域包括支援センター(中央・東・西・南・北の 5 か所)設置。有機の里交流センターオープン。菅谷コミュニティセンターオープン。学校給食西共同調理場完成
	9 月 新発田温泉あやめの湯足湯オープン		7 月 イオン(株)ジャスコ新発田店、県石油商業組合北蒲原支部新発田支会、県 LP ガス協会新発田支部、NPO 法人コメリ災害対策センター
	12 月 新発田市・紫雲寺町・加治川村合併協議会設置。新発田駅前土地区画整理事業開始		

	と災害救援協定締結。「しばたっ子食農給食特区」に認定。豪雨発生、新荒川地区の8世帯25人に避難勧告		10月「復活 新発田 十二斎市」開催
	9月「広報しばた」有料広告掲載開始	平成21年	1月「新発田市食の循環によるまちづくり条例」施行
	10月コミュニティバス運行開始。新発田城址公園が「日本の歴史公園100選」に選ばれる。城下町しばた歴史ウォーク開催		3月「新発田市地域公共交通総合連携計画」策定
	11月県立新発田病院が移転開院。「まちの駅よろず新発田学研究センター」オープン。市街地循環バス実証実験運行開始		4月「新発田市議会基本条例」施行。水道料金・下水道使用料のコンビニ納付開始。水道水源保護地域を指定。ふるさと会館閉館。「県立新発田病院跡地整備構想」策定。「新発田市政における法令遵守の推進等に関する条例」施行。蒔谷虹児記念館が市直営に移管
平成19年	1月第1回健康づくり大学開催。市所蔵アートコレクション展開催		5月「新発田市水道ビジョン」策定
	3月「新発田市観光振興基本計画」策定		7月「新発田市中心市街地活性化推進条例」施行。新発田城三階櫓・辰巳櫓復元5周年記念「三階櫓見学会」開催
	4月キッズ陽だまり園開園。「市民参画と協働による新発田市まちづくり基本条例」施行。地域交流センター・紫雲の郷館指定管理者制度導入。幼保一元化施設「西園すこやか園」オープン		9月市内全小・中学校で「日本語」授業開始。新新バイパス新発田IC立体化（下り線）開通。第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」開催、市内ではゴルフ、サッカー、ラグビーフットボールが開催される、29日に高円宮妃殿下が五十公野陸上競技場にお成り
	5月「新発田市ハザードマップ」作成。養護老人ホーム「あやめ寮」移転オープン		10月5日に秋篠宮同妃殿下がカリオン文化館（刀剣伝承館）にお成り。第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」（市内ではサッカー）開催、10日に皇太子殿下が中央公園多目的広場に行啓
	6月「新発田あんしんメール」配信サービス開始。緊急告知FMラジオ装置配備開始。紫雲の郷館入館者100万人達成		11月「天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭典・第1部奉祝まつり」に上町・下町・四ノ町・両町の「しばた台輪」4台が参加。市の部署の一部が「市役所別館」に移転
	7月市ホームページ改訂。コミュニティバスに有料広告掲載開始。「食のアスパラ横丁 味めぐり」実施。中越沖地震発生		12月「新発田市食の循環によるまちづくり推進計画」策定
	8月市ホームページに有料広告掲載開始。食のまちづくり・しばたりレートーク開催。新発田駅前広場オープン	平成22年 (2010年)	4月ななは保育園開園。総務課内に「新庁舎建設室」開設。東豊第2・外ヶ輪・猿橋第2・御免町第2児童クラブ開設。加治川コミュニティセンター（旧新金塚小学校）開設
	10月市立図書館の運営業務を一部委託。石崎家住宅「石泉荘」が登録有形文化財に認定		5月紫雲寺中学校竣工。林道新発田南部線開通。「議会報告会」を市内10か所で初開催
	11月しばたっ子わくわく通学合宿開始。		6月「食の循環によるまちづくり」の大使に、俳優の永島敏行さんが決定
	12月市都市マスタープラン改訂		8月ロボット格闘技大会「ロボワン in 新発田」開催
平成20年	2月竹ヶ花地区の蚤取橋・神明裏遺跡から丸木梯子・剣形木製品など出土、新発田温泉あやめの湯入館100万人達成		9月「食の循環しばた モットイナイ運動」開始。「新発田市核兵器廃絶平和推進基本条例」施行
	3月「新発田市景観計画」策定。市農村マスタープラン改訂。加治川・中川・新金塚小学校閉校。三の丸・清水谷・南保育園閉園。中倉保育所閉所。新新バイパス新発田IC立体化（上り線）開通		10月「しばたのおかず ～郷土の食材と料理～」(開港舎)発刊
	4月優の森・三の丸保育園開園。加治川・中川・新金塚小学校が統合し「加治川小学校」が開校。優の森保育園開園。「観光イベントバス」運行開始。市島邸が市直営に移管。コメリパワー新発田店と災害救援協定締結	平成23年	1月「市長等の給料の特例に関する条例」施行
	5月月岡温泉月姫広場に足湯完成		2月TBSドラマ「3年B組 金八先生」の収録が新発田城などで行われる
	6月電子申請システム稼働。公共施設予約システム稼働		3月東日本大震災発生、カルチャーセンター及びサン・ビレッジしばたを一次避難所として開設。新発田幼稚園閉園。財団法人「新発田市まちづくり振興公社」解散
	7月「新発田市景観計画」施行		
	9月全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始。市水道事業80周年記念イベント開催（ボトルドウォーター「源泉滾々」配布）		

- 4 月 新発田市観光協会設立。市民相談センター開設。救急診療所・休日救急歯科診療所が移転。「新発田市新庁舎建設に関する全世帯アンケート」実施。一次避難所を閉鎖し、月岡温泉の旅館・ホテル 11 施設を二次避難所として開設
- 5 月 はつらつ仕事館開設
- 6 月 「新発田市民のきずなを深め「いのち」を守る条例」施行